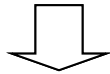


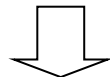
平成28年度決算  
守谷市水道事業 キャッシュ・フロー概略表

平成27年度末残高	24.6億円	←	平成27年度末現金預金残高は24.6億円で、これは平成28年度に繰り越しています。
-----------	--------	---	---



キャッシュ・フロー

区分	差引現金預金		
業務活動	3.4億円	←	安定した水道料金収入と企業会計制度による適正な費用配分により、3.4億円の資金を確保しました。
投資活動	△1.5億円	←	石綿管更新事業による施設整備(建設改良工事)の支出により、1.5億円の資金が減少しました。
財務活動	△0.1億円	←	新たな借入は無く、企業債の償還により、0.1億円の資金が減少しました。
計	1.8億円	←	結果として、平成28年度中の現金預金は、1.8億円が増加しました。



平成28年度末残高 (平成29年度へ)	26.4億円	←	平成27年度から繰り越された24.6億円と平成28年度で増加した1.8億円を加えて、26.4億円の残高となりました。これを、平成29年度へ繰り越します。
------------------------	--------	---	--

守谷市水道事業のキャッシュ・フロー分析

水道事業において、業務活動で得た3.4億円を投資活動と財務活動に充て、トータルで1.8億円の増加となりました。  
 全体的に見て、事業継続のための石綿管更新工事に要する投資活動も行われている中で、水道事業の経営に必要な資金は確保されており、資金の流れも適正となっていることから、比較的安定した経営状況にあるといえます。引き続き、投資活動に必要な資金の確保が必要です。